

令和6年度茅ヶ崎市立浜須賀小学校 学校評価アンケート結果・考察

保護者の部の回答率は、昨年度比102%となりました。多くの皆様のご協力に感謝申し上げます。結果並びに考察をまとめましたのでご報告させていただきます。設問の内容及び選択肢については、昨年度と同様といたしましたので、その比較を「肯定的回答・否定的回答」の括りでお示ししております。「評価の結果はゴールではなく、次のステップへの新たなスタート」という捉えの下、これまで以上に一人一人が安心して通える、一人一人を安心して通わせられる浜須賀小学校に向け、職員一同学校運営に努めてまいりますので、引き続き本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

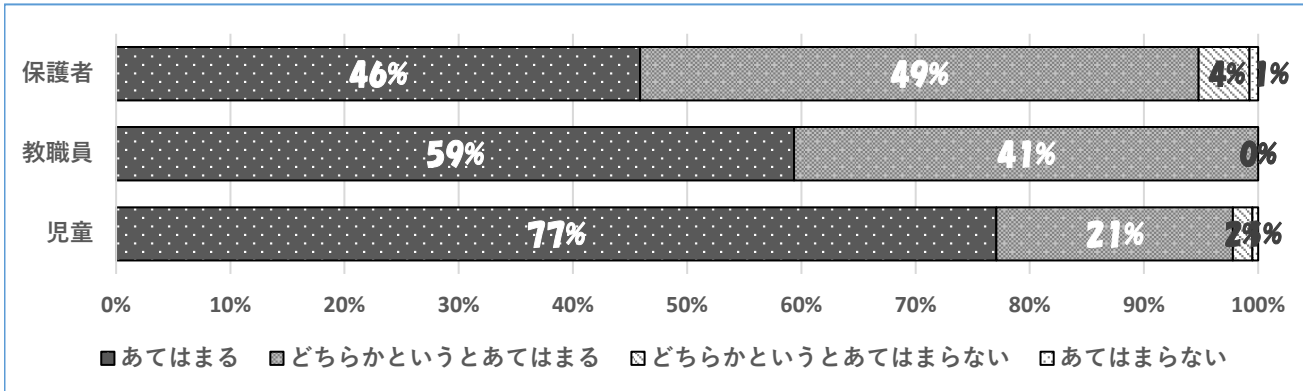
令和7年1月31日 浜須賀小学校

◆回答数(回答率)

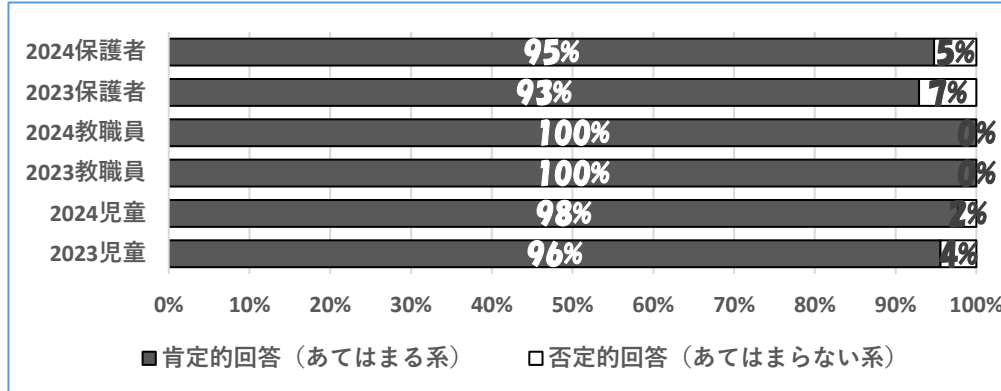
- 保護者：537(在籍児童780名分：回答率69%)
(1年88% 2年70% 3年65% 4年64% 5年65% 6年66%)
 - 教職員：32
 - 児童：775(回答率99%)
- *端数処理の関係で、回答の内訳の和が100%にならない項目もあります



1 学校は、教育目標である「未来をひらく浜小の子～遊ぶ 学ぶ 助け合う～」(知・徳・体のバランスの取れた教育)に沿った学校づくりに努めていると思いますか



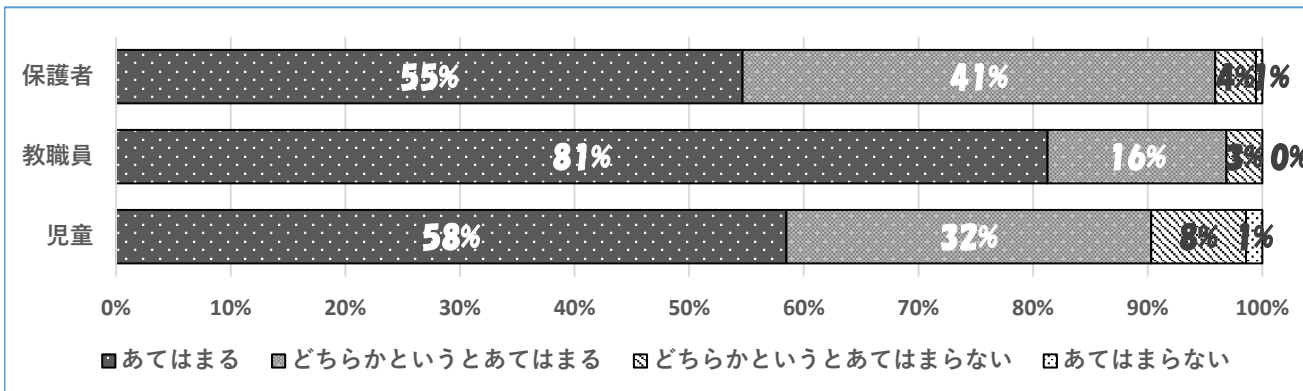
昨年度との比較



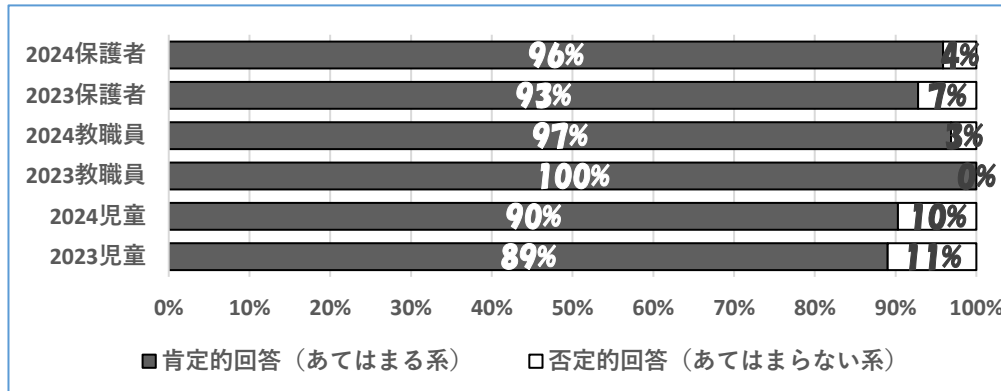
考察

全ての対象ともに、肯定的回答の割合が9割を超えています。教育目標は、学校における全ての教育活動の根幹となることを教職員全体で再確認した上で、学校や学年、学級の活動の体系化を図り、学校全体で一人一人の児童の成長を促し、支えていかれるよう努めてまいります。

2 学校は、子どもたちが安全・安心に通える場所となるよう努めていると思いますか

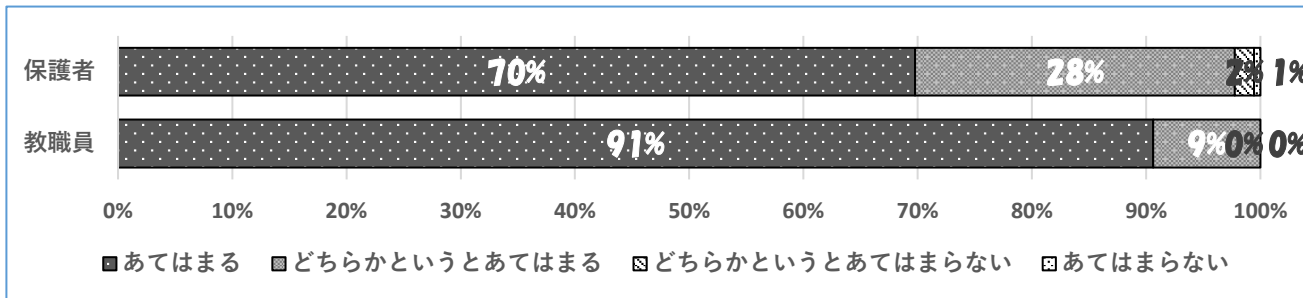


昨年度との比較

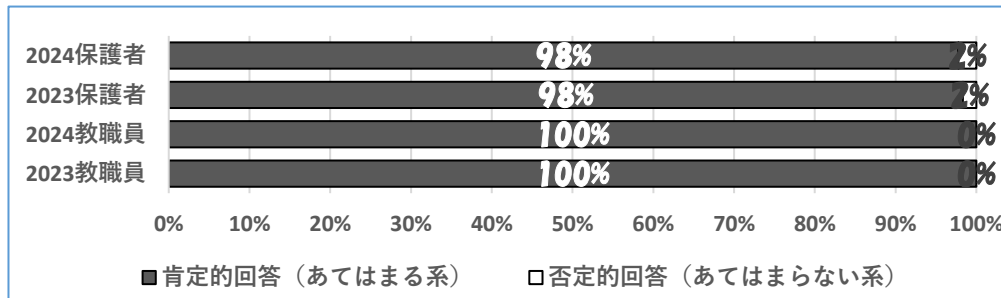


考察：全ての対象ともに、肯定的回答の割合が9割を超えています。何よりも優先して学校は子どもたちにとって「安全・安心」な場所であるべきだと考えます。否定的回答の実数は、保護者で22人、児童で75人で、均して昨年度より25%減少しています。本設問に否定的な回答をした方の不安の要因について、他の設問の回答との関連を確かめたところ、学校を主体とする全ての設問に否定的な回答をしたのは児童1人でした。保護者の不安な要因としては、①「5 いじめ防止等の取組(14人)」②「8 児童理解・人間関係づくり(14人)」③「7 分かりやすい授業づくり(13人)」。児童の不安な要因として①「5 友だち同士で嫌な思いをしない学校(31人)」②「6 なりたい自分に向けて挑戦できる学校(23人)」③「4 困った時に相談できる先生(16人)」でした。

3 学校は、安全・安心な給食の提供に努めていると思いますか



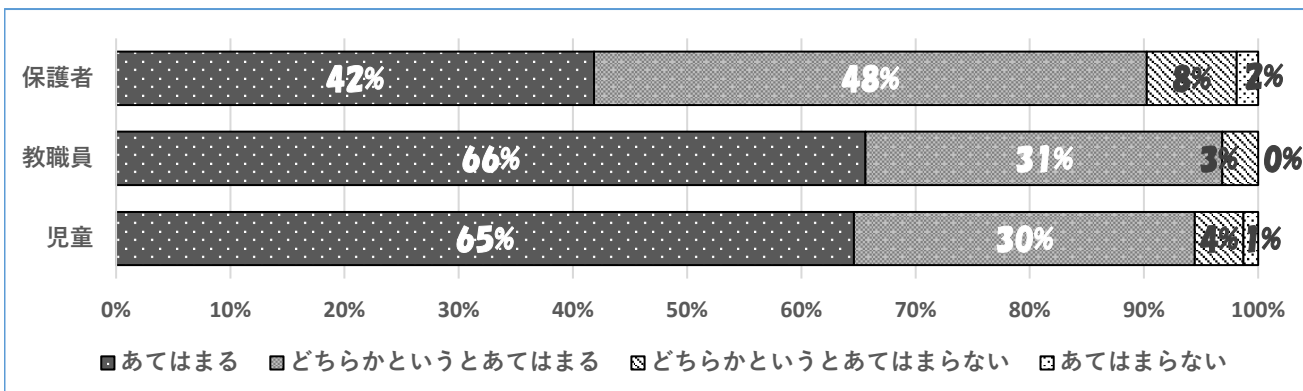
昨年度との比較



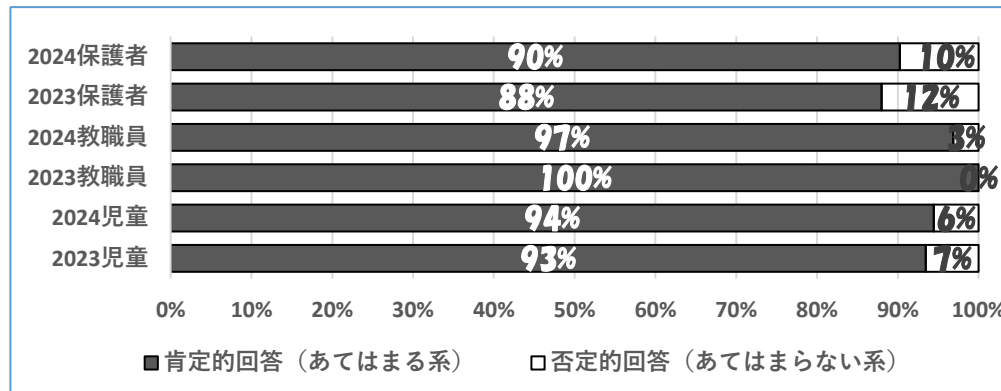
考察

全ての対象ともに、肯定的回答の割合が9割を超えています。献立の工夫やアレルギー対応、栄養職員による給食に係る食育の充実、給食試食会の実施などの取組が評価されたものと推察されます。

4 学校は、子どもたちや保護者にとって相談しやすい環境の構築に努めていると思いますか



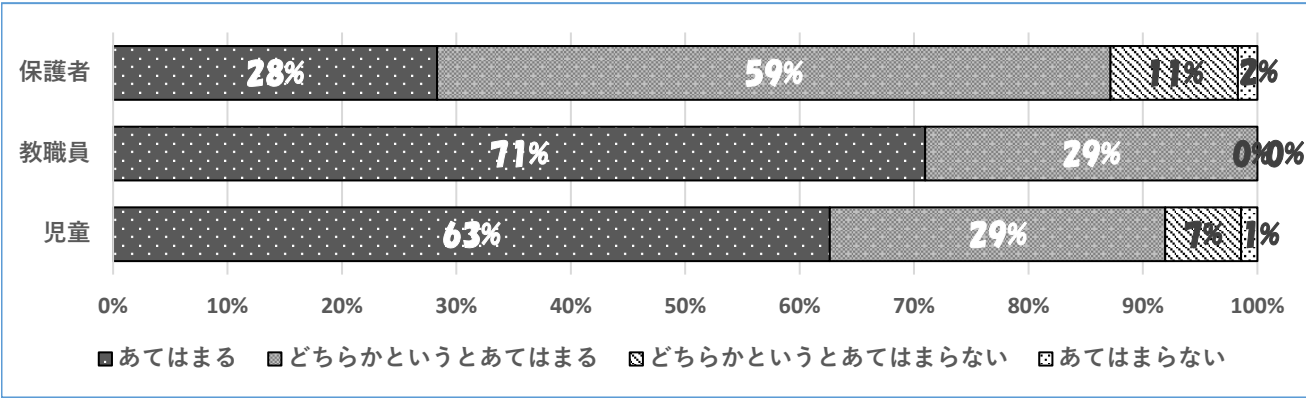
昨年度との比較



考察

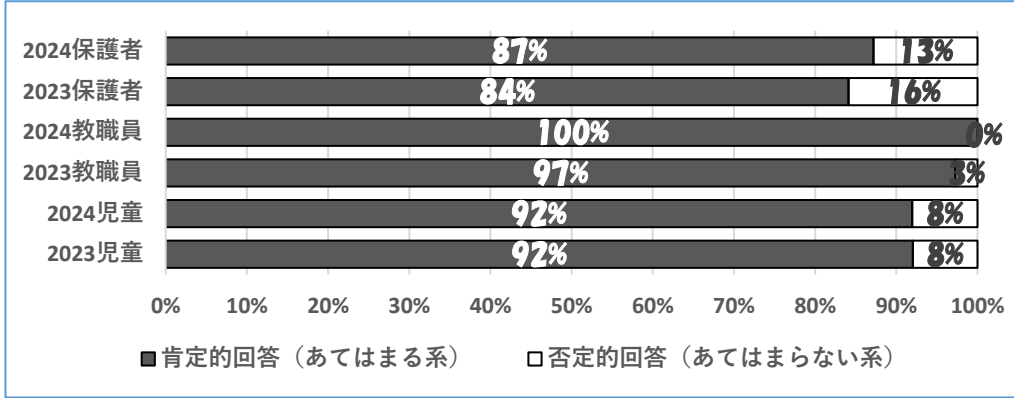
全ての対象ともに、肯定的回答の割合が9割を超えています。担任を始めとする教職員が適時適切に相談に対応できるよう努めているところですが、「設問2」との関連で、児童の不安な要因の上位に位置していることから、学校の主役である児童が、日頃から困ったときにより気軽に教職員に相談できる関係づくりに努めてまいります。

5 学校は、いじめ防止等の取り組み（未然防止・早期発見・早期解決）を適切に行うよう努めていると思いますか



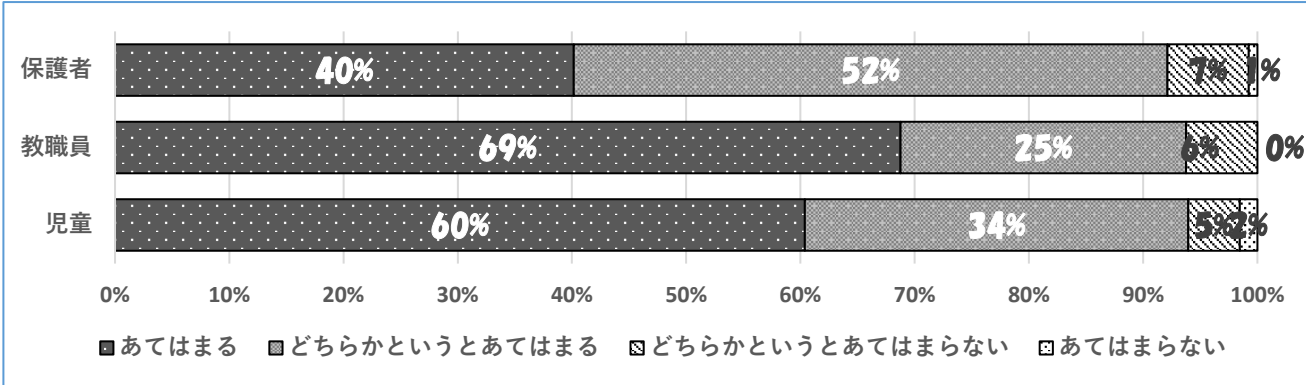
★注 文科省が集計した令和5年度間におけるいじめ認知件数の全国平均は小学校で1000人あたり58人。認知件数が多いほど、積極的にいじめ防止等の取組を推進しているとされています。本校における令和5年度間のいじめ認知件数は、1000人あたりに換算すると「95人」でした。

昨年度との比較

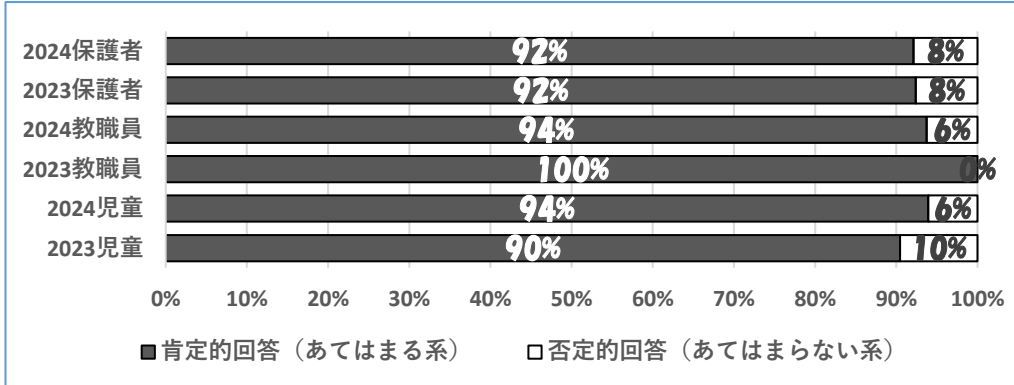


考察：肯定的回答の割合は、均して9割程度となっています。「設問2」との関連で、保護者、児童ともに、不安な要因の最上位に位置していることから、学校は、教育活動全般を通していじめ防止等の取組の強化に努めていかなければならないと考えます。朝会や学級活動等の機会を通じて自分の言動が他者に与える影響について考えさせるなどして未然防止に努めるとともに、教職員のアンテナの感度を高め、いじめを認知した際には原則、その日の内にいじめ防止委員会を開催するなど、適時適切な対応に努めてまいりました。年2回実施する「学校生活アンケート」において自他のいじめに係る記述が多いことから、引き続き、児童会や学級における児童が主体となって行ういじめ防止等の取組の充実に努めてまいります。

6 学校は、教育活動全般を通して子ども・保護者・地域の願いや期待に応えるよう努めていると思いますか

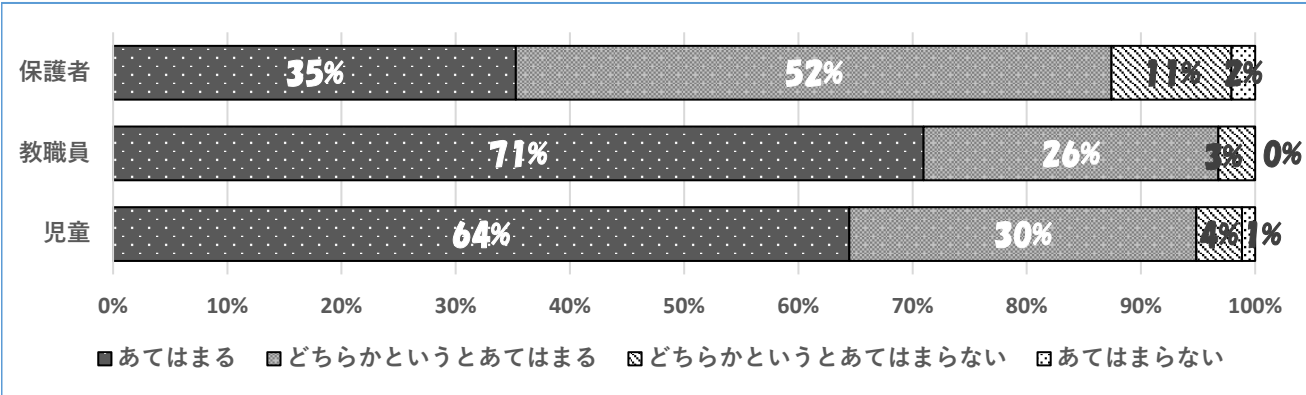


昨年度との比較

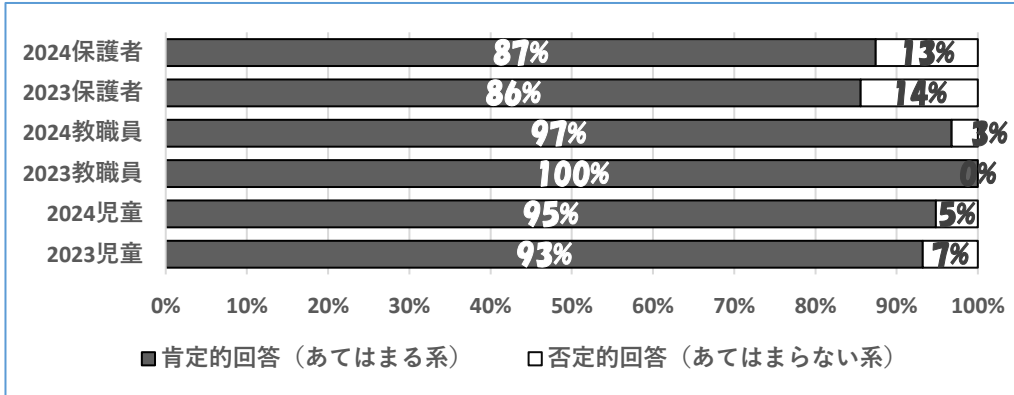


考察 全ての対象ともに、肯定的回答の割合が9割を超えています。実数は昨年度の半数程度にとどまりましたが、「設問2」との関連で、引き続き児童の不安な要因の上位に位置しています。安全・安心な環境でチャレンジできるという観点に加えて、教職員が児童の声によく耳を傾け、児童にとって教職員が「自分のことをよく分かってくれる存在・応援してくれる存在」になれるよう努めることが必要であると考えています。

7 学校は、一人一人にとって分かりやすい授業づくりに努めていると思いますか

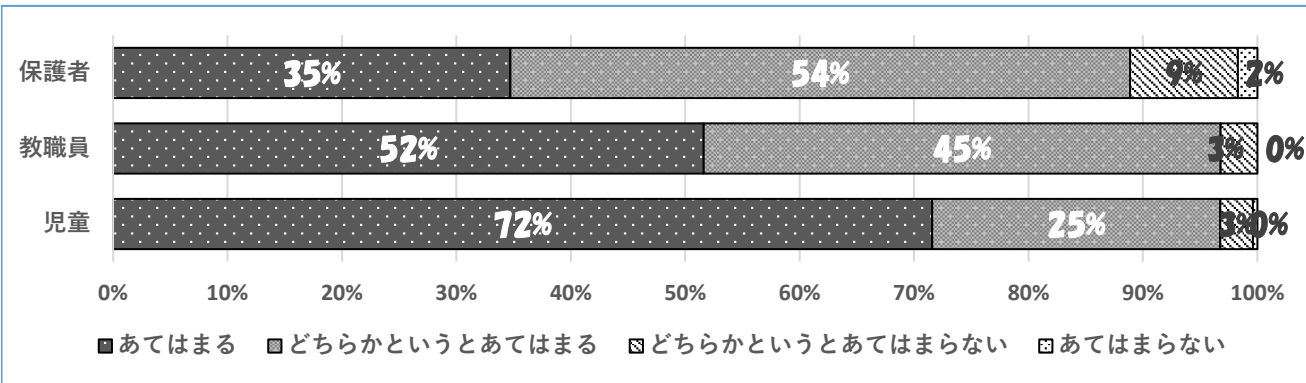


昨年度との比較

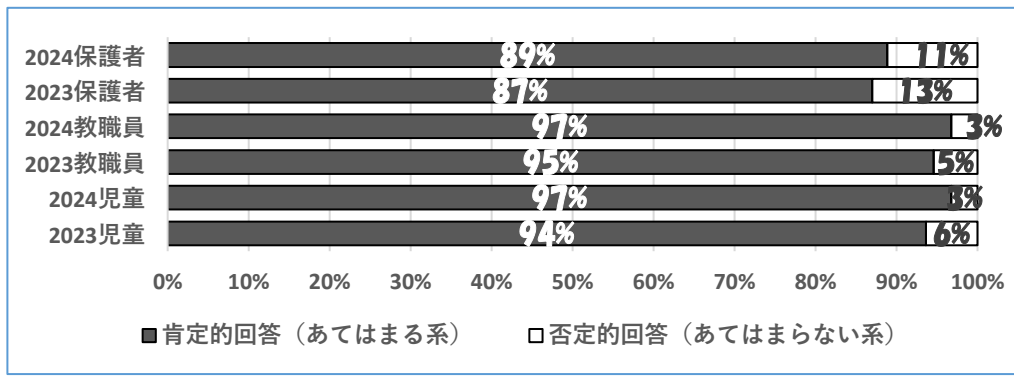


考察 肯定的回答の割合は、均して9割程度となっています。「設問2」との関連で、保護者の不安な要因の上位に位置しています。本校では「子どもが自分からうごく授業づくり～対話を生かして～」をテーマに研究に取り組んでいますが、前提として、学校生活のほとんどの時間を占める授業を、全ての児童にとって参加しやすい、前向きに参加してみたいと思える時間とできるよう、さらなる手立ての工夫が必要であると考えています。

8 学校は、自他を尊重する心を育めるよう、児童理解並びに共生社会の形成に向けた人間関係づくりに努めていると思いますか

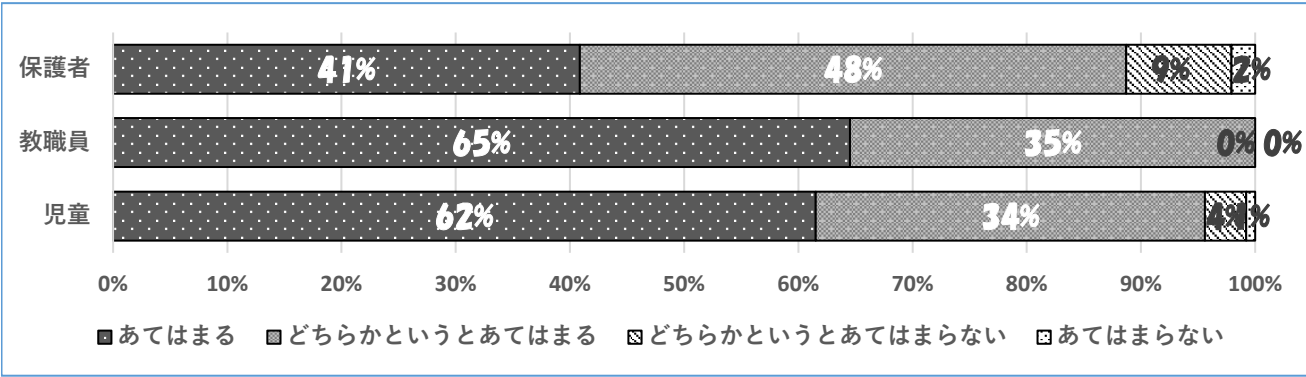


昨年度との比較

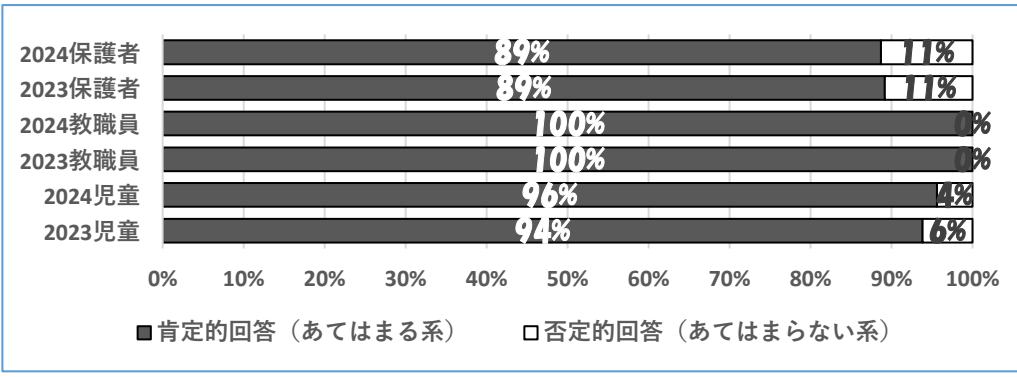


考察：肯定的回答の割合は、均して9割程度となっています。昨年度との比較では、全ての対象で肯定的な回答の割合が高くなっています。このことは、児童会のテーマ「失敗OK 夢にGO (人と比べぬ自分でいこう)」に沿った教育活動の成果の表れであると認識しています。一方、「設問2」との関連で引き続き、保護者の不安な要因の上位に位置していることから、より一層、自他の違いを尊重する心情や、他者との関わりにおける立ち振る舞いに係る資質・能力の醸成に努めてまいります。

9 学校は、教育活動全般を通して子どもたちの主体性を育むよう努めていると思いますか



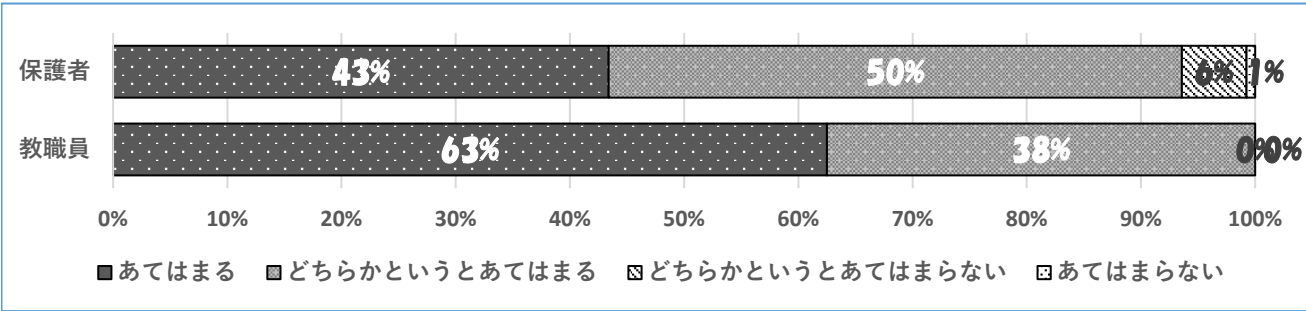
昨年度との比較



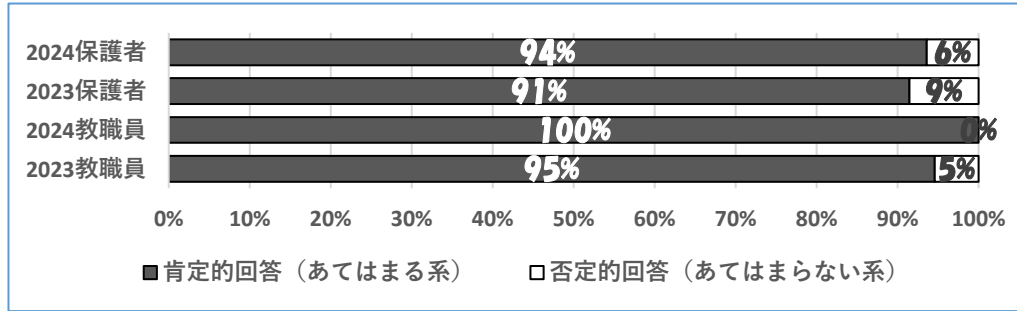
考察

肯定的回答の割合は、均して9割程度となっています。児童が「知りたい、考えたい、調べたい」と思える授業にできるよう、学校経営計画に掲げる「うごく力（主体性）…選ぶ 行動する 挑戦する」の具現化に向けて、教育活動全般を通じて、子どもたちが判断して動ける場面の設定に努め、児童の主体性の醸成に努めてまいります。

10 学校は、組織として子どもたちの成長を支えるよう努めていると思いますか



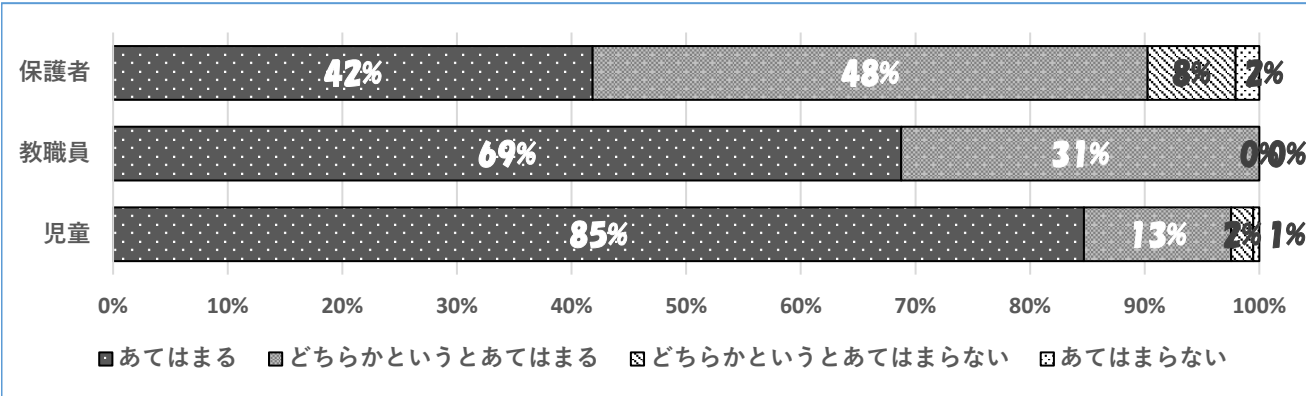
昨年度との比較



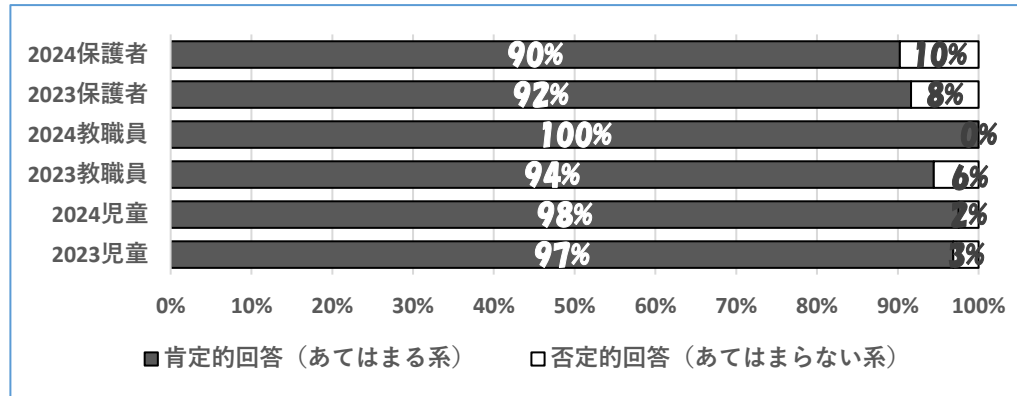
考察

全ての対象ともに、肯定的回答の割合が9割を超えています。昨年度との比較では、全ての対象で肯定的な回答の割合が高くなっています。引き続き「チーム浜小」を合言葉に、児童支援・指導、授業づくりについて、学校全体でよりよい連携を図ってまいります。

11 学校は、コロナ禍で培った知見を生かし、必要な教育活動（行事等）について適切に実施するよう努めていると思いますか



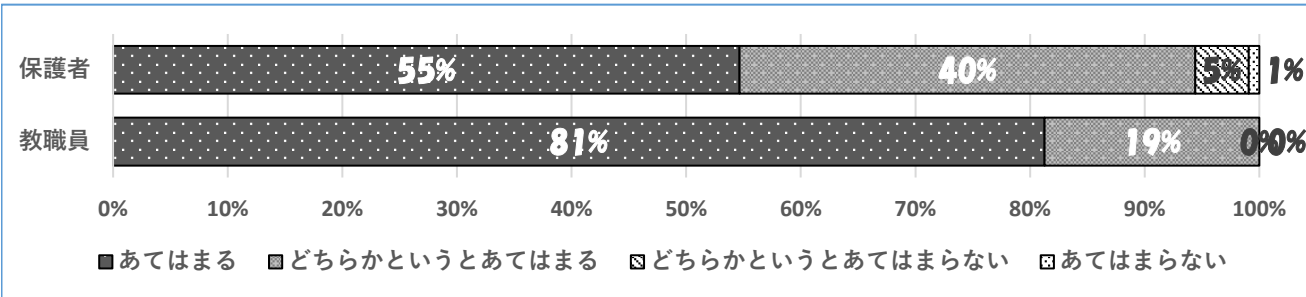
昨年度との比較



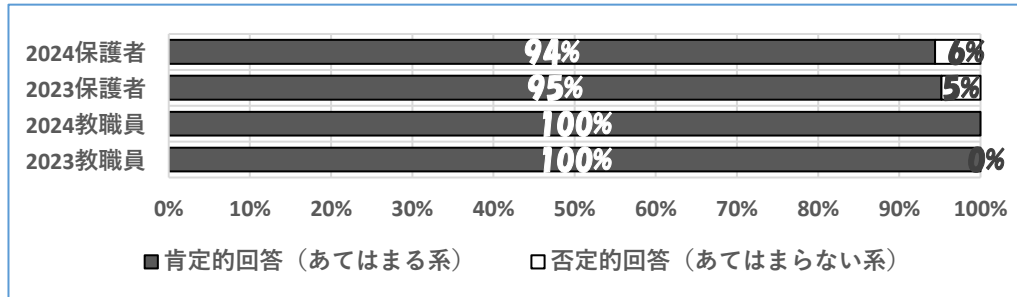
考察

全ての対象において、肯定的回答の割合が9割を超えています。引き続き、児童が一つ一つの目標に向けてポテンシャルを十分に発揮し、次の活動への原動力を培えるような、より効果的な教育活動の在り方について研究してまいります。

12 学校は、おたより（浜小だより・学年だより・学級だより）等を通して、家庭への情報発信に努めていると思いますか



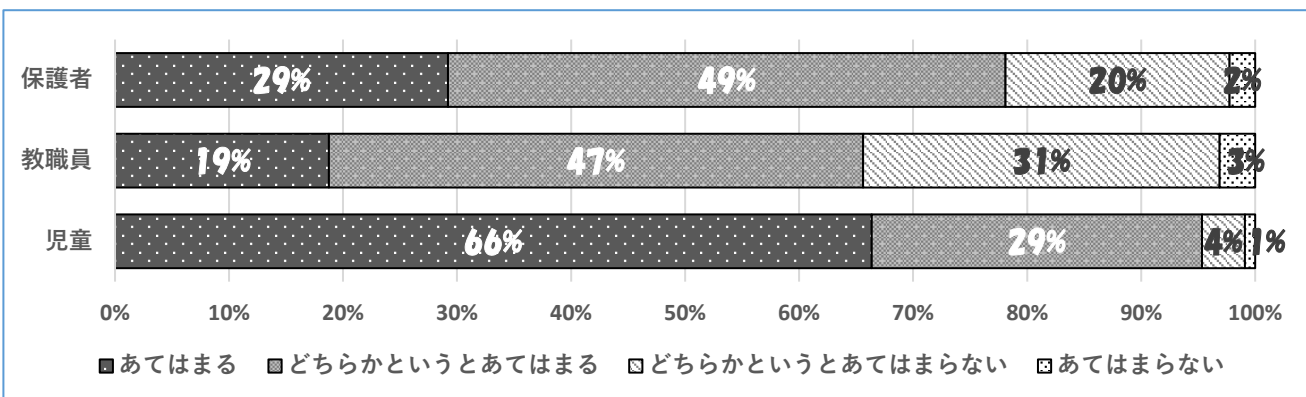
昨年度との比較



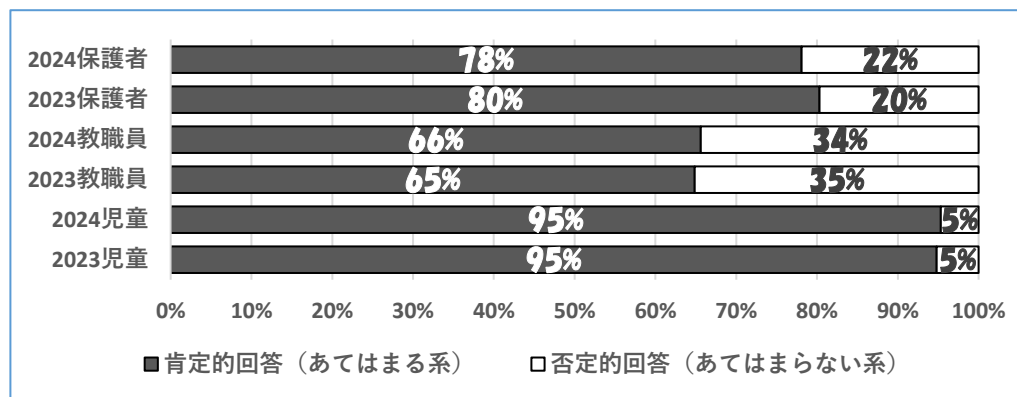
考察

全ての対象において、肯定的回答の割合が9割を超えています。本年度は、学校だよりや一部の学年・学級だよりについて、時間の効率化並びに環境への配慮の観点からデジタル化を図りました。引き続き、学校家庭間の共通理解を図るためのツールとして、各種たよりの内容の充実にも努めてまいります。

13 お子さんは、家族や地域の人、友だちや先生に進んで挨拶をしようとしていますか



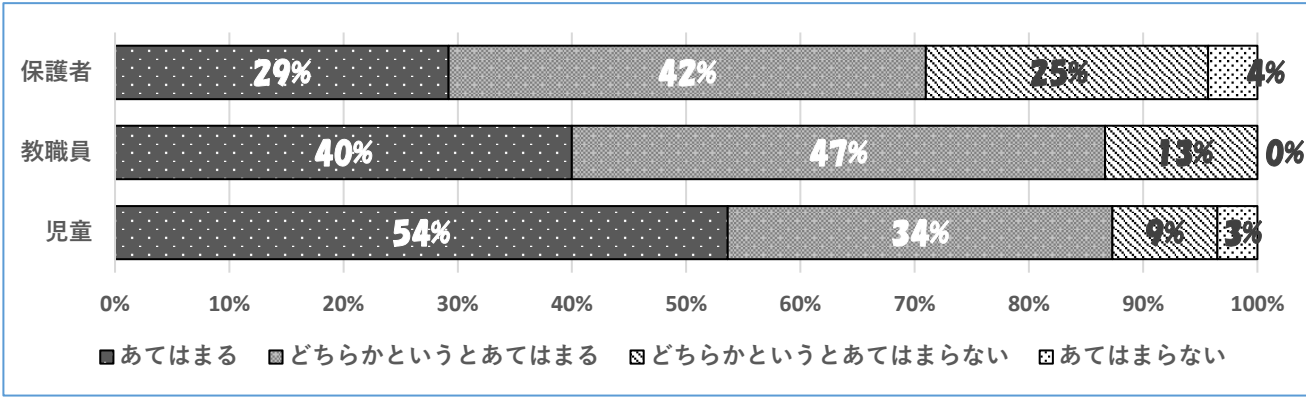
昨年度との比較



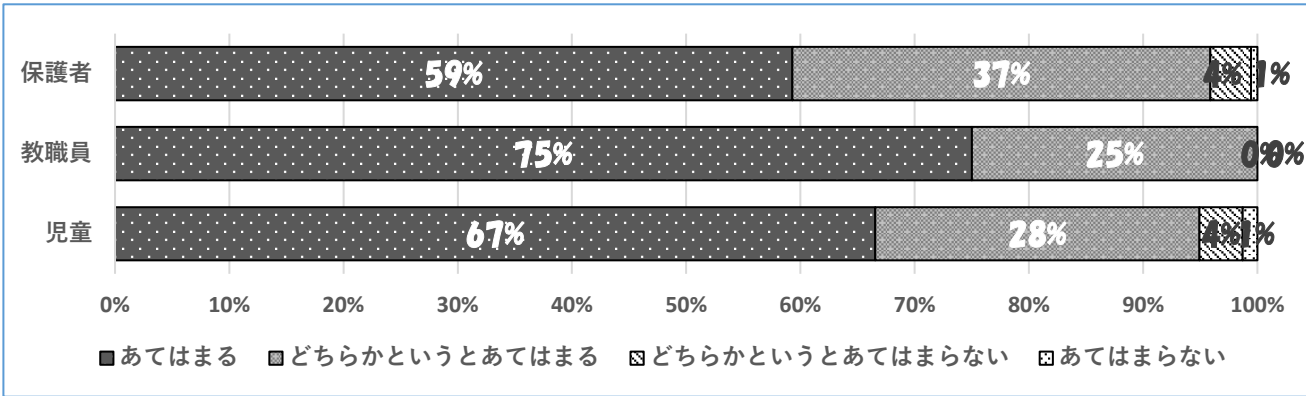
考察

昨年度同様、それぞれの対象で回答の数値に差異が見られます。児童は挨拶をしているつもりでも、大人にはそうは取られないという状況から、登下校等、集団で行動している際に相手に気付かない状況も推察されます。挨拶は、相手を意識し尊重する大切なコミュニケーションツールの一つであることについて、学校・家庭が連携して伝えていく必要があると考えています。

14 お子さんは、家庭で進んで勉強（宿題・自主学習）に取り組もうとしていますか



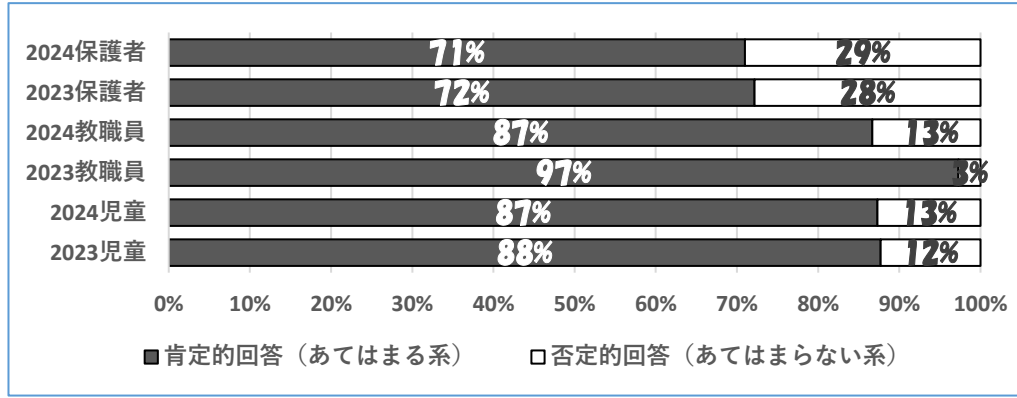
15 お子さんが、この1年間で伸びたと思うことはありますか



15の自由記述（主な記述）【漢字に変換】

1年生	<p>(児童) 給食が全部食べられるようになりました。</p> <p>(児童) 友だちができるようになりました。</p> <p>(児童) 空気を読めるようになりました。</p> <p>(保護者) 園へ通っていた頃は字を書くだけで泣いていたのが嘘のように進んで勉強に取り組む様になりました。</p> <p>(保護者) 宿題について自主的に取り組み、帰宅後の習慣となりました。また、学校で起きた事を楽しそうに話してくれます。</p> <p>(保護者) 相手に対する言葉かけが増えたと思います(「ありがとう」「大丈夫?」「それいいね!」など)。</p> <p>(保護者) 友だち関係を良好に築けています。困った時にヘルプを出せるようになり、授業にも楽しんで取り組んでいます。</p>
2年生	<p>(児童) 勉強をコツコツやれるようになりました。</p> <p>(児童) 学校にほとんど毎日行けるようになりました。</p> <p>(児童) 友だちとのコミュニケーション力が成長したと思います。</p> <p>(保護者) 疑問に思ったことを、自分で考えたり調べたりする力がつきました。</p> <p>(保護者) 「やってみる!」と、物事に対してチャレンジすることが増えました。</p> <p>(保護者) 人見知りで特定の友達との付き合いでしたが、自分から新しい人間関係を築き毎日楽しく過ごしています。</p> <p>(保護者) 学校が楽しい場所と思えるようになりました。</p>
3年生	<p>(児童) 文章を書くときに漢字を使いこなすことができるようになりました。</p> <p>(児童) 知らない人にもあいさつできるようになりました。</p> <p>(児童) 1、2年生の時に憧れていた3年生になれたんじゃないかなと思います。</p> <p>(保護者) お店の人にも挨拶やお礼を自らするようになりました。</p> <p>(保護者) 主体性。自分で考えて何を留意するのか、何時に家を出ればいいのか、などを逆算して行動できるようになりました。</p> <p>(保護者) 自分や周囲のことを以前より客観視できるようになりました。</p> <p>(保護者) 学校を嫌がらずに毎日登校できるようになりました。</p>
仲よし級	<p>(児童) わり算が上手になりました。</p> <p>(児童) ローマ字入力ができるようになったし、嫌いな食べ物(魚)が食べられるようになりました。</p> <p>(児童) 色々できることが増えていると思います。例えば、字が上手になりました。</p>

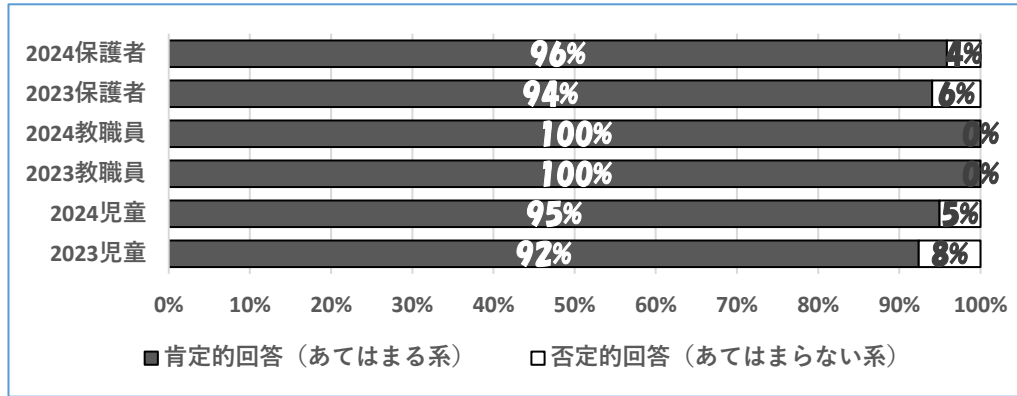
昨年度との比較



考察

昨年度同様、それぞれの対象で回答の数値に差異が見られます。昨年度との比較では、全ての対象において肯定的回答の割合が低くなっています。学校として宿題を課す際には、その意義について家庭と共有を図るとともに、家庭で取り組んできた課題について、丁寧にフォローアップしていく必要があると考えています。

昨年度との比較



考察

全ての対象ともに、肯定的回答の割合が9割を超えています。自由記述にもお示したとおり、学年が上がるにつれて、上位概念の成長が示されていることは、学校生活の積み重ねやご家庭での啓発が成果となって表れたものであると考えています。

4年生	<p>(児童) 理科や社会が少し苦手でしたが、お母さん、お父さんから「テストいい感じだね」って言われて嬉しかったです。</p> <p>(児童) いろいろな提案をする力、考える力、自分の判断と責任で行動できる力がつきました。</p> <p>(児童) 言い方がきつかったけれど、それを先生が教えてくれてお友だちが作りやすくなりました。</p> <p>(保護者) 毎日の日記と説明学習のおかげで文章力、説明力が身についたように感じます。</p> <p>(保護者) クラスの友人の事を大切にし、友人と関わる事に積極的になりました。</p> <p>(保護者) 何事に対しても意識レベルが高くなりました。</p> <p>(保護者) 先生が子どもたちの事を良く理解しようと努めてくれていて、それに子供が素直に心えようと良い関係が築けました。</p>
5年生	<p>(児童) 一人で行動できるようになりました。例えば音楽の授業の時、早く行動できるようになりました。</p> <p>(児童) みんなのためにまわりを見て行動できるようになりました。</p> <p>(児童) 色々な人と一つのものを作り上げることが得意になりました。</p> <p>(保護者) 内気だった子が、積極的に発言したり、みんなを引っ張ったりするようになりました。</p> <p>(保護者) 友だちとの関係をうまく保つにはどうしたらよいかがだんだんとわかってきたようです。</p> <p>(保護者) 個人だけでなく、他者を巻き込んで物事に取り組む姿勢や気持ちが大きく成長したと思っています。</p> <p>(保護者) 課外活動や運動会などを通し、子どもたちだけで考え協力して課題をクリアしていく力をつけているように感じました。</p>
6年生	<p>(児童) 知り合いだけではなく、色々な人に自分から話しかけられるようになれました。</p> <p>(児童) 自分がしたいこととかやりたくないこととかを友だちに合わせるだけでなく、自分の意見が言えるようになりました。</p> <p>(児童) 最高学年として責任を持って行動できるよう頑張りました!!</p> <p>(保護者) 公民の授業を通してニュースなどにより興味を持つようになりました。</p> <p>(保護者) 6年生としての自覚があり、下級生のお世話や、学校を良くするという意欲が感じられました。</p> <p>(保護者) お友だちの認識が変わってきた気がします。トラブルなく以前よりよく遊んでいます。</p> <p>(保護者) 人との付き合いを大切に誰にでも差別をせず、お友だちを否定したりしない話し方が出来るようになりました。</p>
仲よし級	<p>(保護者) 集団生活での活動や勉強への姿勢、友だちへの接し方や気持ちの面も成長を感じます。</p> <p>(保護者) 良い言葉も悪い言葉も言葉の語彙が増えました。</p> <p>(保護者) 自分の気持ちの伝え方・感情の整理の仕方など、日々の活動を通して様々なことを学んでいます。</p>